

東京純心大学における社会連携・社会貢献活動に関する方針

東京純心大学（以下、本学という）は、カトリック的人類愛に根ざした「建学の精神」及び「教育理念」に基づき、身に付いた知識や技能をもって、他者のために尽くす愛が真の知恵であるとし、本学の教育はこの「愛に根ざした真の知恵“Sapientia in Caritate Fundata”」を備えた、平和的国際社会と地域社会のよき担い手となる人材の育成を目指している。それゆえ、社会連携・社会貢献は教育理念の実現のための使命のひとつであり、教育理念の実現に向けて、「社会連携・社会貢献活動の基本方針」を次のとおり定める。

1. キリシト教ヒューマニズムと建学の精神に関する研究とその普及の推進、及び、これに関わる諸般の事業の運営を通して、本学内外のキリシト教文化に関する教育・研究の発展に貢献する。
2. 公開講座、講演会、各種講座などを開催し、地域住民に対して生涯学習の機会を提供する。
3. 地域社会に開かれた大学として、施設の開放、図書館の利用等を行い、地域社会に対し貢献する。
4. 地方公共団体等に対して教職員を派遣し、地域社会との交流を深めることで、地域社会の問題解決に寄与する。
5. 本学の教育・研究の資源を活用した高大連携事業を推進することにより、高等学校等の教育内容の充実・発展に貢献する。